

第 2 学年 体育科学 学習指導案

2 年 1 組 指導者 大賀 拓也

単 元 エンジョイ！なわわサイズ（体づくりの運動遊び）

1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○なわとび遊びを工夫する中で、なわとび遊びの楽しさや心地よさを味わっている。	○遊び方の工夫と心と体の変化のつながりに気付いている。	○遊び方を工夫したときの気持ちの違いを仲間と交流している。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、マット・跳び箱を使った運動遊びの学習において、転がったり跳んだりする運動遊びの楽しさに触れ、その動きを身に付けてきた。このような子どもたちが、仲間と交流しながら、繰り返しなわとび遊びを工夫する学習に取り組む。そうすることで、なわとび遊びの楽しさや心地よさを味わうことができるであろう。

本単元は、遊び方の工夫と心と体の変化のつながりについて考えながら、なわとび遊びに取り組む学習である。なわとび遊びには、次のよさがあると考えられる。一つ目は、子どもたちにとって、身近で親しみやすく、用具や人数を変えることで遊び方が工夫しやすい遊びであること。二つ目は、単純な動きであるため、心や体の変化に気付きやすく、遊び方の工夫次第で、多様な動きも経験できる遊びであること。このことから、「遊び方を変えると、心や体はどうかかわるのか」といった問いが見出しやすくなるのではないかと考えられる。問いを追究していく中で、遊び方の工夫と心と体の変化のつながりに気付きながら、多様な動きを行うことができるようにしたい。そうすることで、運動をとおして、心と体の変化を感じ、そこに楽しさを見出しながら、これからも主体的に運動にかかわっていかうとする態度を養うことができると考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 遊び方を工夫する際には、用具や人数を視点を工夫するよう促す。そうすることで、遊び方の工夫の幅を広げることができるようにする。【対】
- 遊び方の工夫を例示し、そのときの心や体の状態を問う。そうすることで、遊び方を工夫したときの気持ちの違いに気付くことができるようにする。【他】
- 振り返り際には、遊び方の工夫前後の気持ちを比較するよう促す。そうすることで、遊び方の工夫と心と体の変化のつながりに気付くことができるようにする。【自】

3 本単元の目標

- 仲間となわとび遊びを工夫し、心や体の変化に気付きながら、多様な動きを行うことができるようにする。
- なわとび遊び方を工夫する中で、なわとび遊びの楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。

4 本単元における評価規準


知識・運動（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に取り組む態度（態）
○心と体の変化に気付きながら、多様な動きを行うことができる。	○遊び方の工夫による心と体の変化の違いを、仲間と交流することができる。	○なわとび遊びに進んで取り組み、きまりを守ったり、誰とでも仲よく遊んだりしている。

5 指導計画（全 3 時間）

第 1 次 なわとび遊びを楽しむ（3 時間）【本時 1 / 3】

6 本時案 【令和元年6月3日 10:25~11:10 体育館】

- (1) ねらい なわとび遊びを工夫して行うことをとおして、遊び方の工夫と心と体の変化のつながりに気付くことができるようにする。
- (2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 個人でなわとび遊びをし、心と体の変化を考える。(15分)</p> <p>・心と体の状態</p>	<p>・ 今日から「エンジョイ!なわわサイズ」をするのだね。よし、たくさん跳ぶぞ。</p> <p>・ 跳び続けたから心臓がバクバクしてる。</p> <p>・ 速く跳んだら、脈も速くなったよ。汗をかいて気持ちよいな。</p> <p>A 今度は、片足で跳ぶのか。ふらふらして少し怖いよ。</p> <p>B ぼくは、片足の方が、楽で楽しいな。</p> <p>・ よし、次は、遊び方を変えてみるぞ。</p>	<p>○例示したペア跳びを一斉に行い、そのときの心や体の状態を問う。そうすることで、遊び方を工夫したときの気持ちの違いに気付くことができるようにす。【他】</p>
<p>遊び方を変えると、心と体はどう変わるのか。</p>		
<p>2 遊び方を工夫したときの、心と体の変化を考える。(25分)</p> <p>・遊び方の工夫</p> <p>・仲間との交流</p> <p>・遊び方を工夫したときの気持ちの違い</p>	<p>・ A君と一緒に跳ぶと、楽しいな。どんどん速く回してみようよ。</p> <p>A いや、上手に跳べないし楽しくないよ。</p> <p>・ <u>ぼく</u>の感じ方と違うのだね。【他】</p> <p>・ 跳び箱から跳んでいる人もいるよ。</p> <p>A 上から跳ぶのは、怖そうだな。</p> <p>B えい。意外と平気だよ。やってみて。</p> <p>A 本当だ。着地で足が痛かったけれど、スッキリするな。次は2段にしてみよう。 <u>怖そうだけど、跳んでみたいな。</u>【対】</p>	<p>○体育館に設置した用具(跳び箱やケンステップ等)の使用を促す。そうすることで、リズムや高さを変えた遊び方に工夫することができるようにする。【対】</p>
<p>遊び方を工夫してみて、どうだった?</p> 		
<p>3 本時の学習を振り返る。(5分)</p> <p>・心と体の変化への気付き</p>	<p>・ A君との気持ちの違いが分かったし、一人の時より楽しかったよね。</p> <p>A <u>はじめは怖かったけれど、跳び箱から跳ぶと高く跳べて、その場で跳ぶよりもスッキリした気分になったよ。</u>【自】</p> <p>・ 他の遊び方も試してみたいな。</p>	<p>○以下の視点で振り返るよう促すことで、遊びの工夫と心と体の変化のつながりに気付くことができるようにする。【自】</p> <p>・遊び方の工夫</p> <p>・工夫前後の気持ち</p>

(3) 板書計画

